

(6) 導入適地の評価

A～F地点について、風況、機器搬入、送電網、自然公園法、マイクロ波について0～3の4段階で評価し表4.6へ、凡例を表4.7へ示しました。評価にあたっては、風況状況、機器搬入、送電線については各評価マークが多い地点が導入適地として優れ、自然公園法とマイクロ波については各評価マークが少ない地点が導入適地として優れているものとします。

評価の結果、館山市ではSite-Aが導入適地として優れていることが解りました。また、漁業関係者や住民の理解が得られ、船舶の航路との調整が出来る場合には、洋上のSite-D及びEが現時点では導入適地と考えられます。ただし、電波障害についてはマイクロ波を対象としており、実際の導入にあつては、テレビやラジオ等の地上波等について詳細に検討し、周辺住民の理解を得つつ事業展開を図る必要があります。

表 4.6 導入適地の評価一覧表





















候補地	風況状況	機器搬入	送電網	自然公園法	マイクロ波
Site-A					
Site-B					
Site-C					
Site-D					
Site-E					
Site-F					

表 4.7 導入適地評価の凡例

	凡例	評価
風況状況		凡例が多いほど優れる
機器搬入		凡例が多いほど優れる
送電網		凡例が多いほど優れる
自然公園法		凡例が多いほど規制が厳しい
マイクロ波		凡例が多いほど規制が厳しい